

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	府中 敬 (常勤)	開講時期	1年次 通年
科目名	キヤド演習	授業 方法	講義・ 演習 ・実習	教育時間	60
教科書	Autodesk AutoCAD2025/Autodesk AutoCAD LT2025 公式トレーニングガイド				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	1年間でCADの基本を学び、組み立てをはじめとする製造職に必要な図面を読み取る力を養っていくことを目的としている。			
実務経験	精密機械の図面修正、組み立て等の実務経験を活かして機械の仕組み学びながら図面を描く授業を行っている。			
授業の進め方	公式トレーニングをベースにCADコマンドの使い方を把握し、終了後随時課題を実施していく。			
到達目標	1. AutoCADの基本操作ができる。 2. 3面図を見てどのような形状のモノか理解できる。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	60%	30%	10%	100%

授 業 計 画			
(1単位時間=50分)			
No.	教 育 項 目	時 間	備 考
【前期】			
1	CADの基本操作	8	
2	オブジェクトの作成	16	
3	オブジェクトの編集	12	
【後期】			
4	基本演習及び実用演習	24	

2024 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	府中 敬 (常勤)	開講時期	1年次 通年
科目名	材料実習	授業 方法	講義・演習・ 実習	教育時間	60
教科書	(一社)日本非破壊検査協会 浸透探傷試験Ⅱ (一社)日本非破壊検査協会 磁粉探傷試験Ⅰ				
参考書	(一社)日本非破壊検査協会 浸透探傷試験 実技参考書 (一社)日本非破壊検査協会 磁粉探傷試験 実技参考書				

教 育 の 内 容				
授業概要	非破壊検査の基礎知識、検査技術の習得と応用			
実務経験	—			
授業の進め方	授業では、グループによる実習を中心に教材試験で解説する。			
到達目標	1 実習方法を習得する。 2 試験方法を計画し、必要な器材を準備して検査判定ができる。 3 将来、資格を取得できるように練習を繰り返す。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	40%	40%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
【前期】				
1	浸透探傷試験の概要	10		
2	探傷の実際	15		
3	NDT指示書	5		
【後期】				
1	磁粉探傷試験の概要	10		
2	探傷の実際	15		
3	NDT指示書	5		

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

(専門科目) ・ 一般科目

1/3ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	国守 剛 (常勤)	開講時期	1年次 通年
科目名	情報処理演習 I (情報リテラシー I)	授業 方法	講義・ 演習 ・実習	教育時間	60
教科書	例題30+演習問題70でしっかり学ぶExcel標準テキストWindows11/Office2021対応版 他 独自作成資料				
参考書	-				

教 育 の 内 容				
授業概要	コンピューター基礎知識からEXCEL等の実務系アプリケーションまでを演習を通じて情報リテラシーを学ぶ。到達目標は社会人1年目に必要とされるICT活用スキル。			
実務経験	ネットワーク・エンジニア、パソコン検定インストラクター、高校情報系教諭			
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBワーク(テスト)演習を通じて、情報リテラシーの基礎を習得する。 ・対面授業を通じてEXCEL等のアプリケーションを実習スタイルで習得し、情報処理の基本を学ぶ 			
到達目標	入社時に要求されるICT活用スキルを有する人材 ■ 基本的なICT活用による職務の遂行と問題解決が、人を頼らずにできる ■ 基本的なICT知識・スキルを有する			
学業成績の 評価方法	期末得点(WEBテスト得点)	実技点	評点	評価点
	50%	50%	0%	0%
授 業 計 画 (1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
【前期】				
AH	コンピューター一般知識3Q	5		
	情報通信ネットワーク3Q	4		
	情報モラルと情報セキュリティ3Q	2		
1	ガイダンス/環境設定/DX説明	1		
2	EXCEL PART1/PART2	1		
3	PART3	10		
	計	23		
【後期】				
AH	情報モラルと情報セキュリティ3Q	1		
	【AH】コンピューター一般知識J2Q	3		
	【AH】情報通信ネットワークJ2Q	2		
	【AH】情報モラルと情報セキュリティJ2Q	2		
	【AH】ICTを活用した問題解決J2Q	2		
	【AH】時事・習熟状況に応じた課題	7		
1	PART4	3		
2	PART5	6		
3	PART6	8	2年次への導入	

学科	トータルモビリティ技術科	学年	1年
科目	情報処理演習 I (前期)	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
AH	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(1)	4 ~ 9 月	1	詳細内容 下段記載
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(2)		1	
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(3)		1	
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(4)		1	
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(5)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(1)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(2)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(3)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(4)		1	
	情報リテラシー I ③情報モラルとセキュリティ3Q(1)		1	
	情報リテラシー I ③情報モラルとセキュリティ3Q(2)		1	
コンピューター知識	デジタルデータの処理の概念を説明できる 入力装置の種類と特徴を説明できる 出力装置の種類と特徴を説明できる 記憶装置の種類と特徴を説明できる 利用者サービスの種類を理解した上でサービスを利用できる デジタル化の利点や問題点を説明できる コンピューターを利用したデータの管理や分析ができる	詳細	5	
情報通信ネットワーク	情報通信システムの基本的な仕組みを説明できる ログオン/ログオフの意味について説明できる ネットワーク資源の基本的な活用ができる ホームページの仕組みを理解した上で活用できる 電子メールの機能を理解した上で活用できる	詳細	4	
情報セキュリティと情報モラル	情報モラルの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 個人情報保護の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 情報セキュリティの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる コンピューターウイルスに対する基本的な対処ができる 知的財産権や肖像権の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる	詳細	2	
導入	【ガイダンス】 シラバス・DX説明 環境準備・設定	4月	1	
表計算・データベース(Excel)	PART1/PART2	4月	1	
	PART3 Lesson1	5月	1	
	PART3 Lesson2		1	
	PART3 Lesson3		1	
	PART3 Lesson4		1	
	PART3 Lesson5		1	
	PART3 Lesson5 演習	6月	1	
	PART3 Lesson6		1	
	PART3 Lesson7	7月	1	
	PART3 Lesson7		1	
	PART3 まとめ	9月	1	
	PART4 Lesson1		1	

学科	トータルモビリティ技術科	学年	1年
科目	情報処理演習 I (後期)	授業方法	演習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
AH	情報リテラシー I ③情報モラルとセキュリティ3Q (3)	9月 ～ 3月	1	詳細内容 下段記載
	情報リテラシー I ④ICTを活用した問題解決3Q (1)		1	
	情報リテラシー II ①コンピュータ知識J2Q (1)		1	
	情報リテラシー II ①コンピュータ知識J2Q (2)		1	
	情報リテラシー II ①コンピュータ知識J2Q (3)		1	
	情報リテラシー II ②情報通信ネットワークJ2Q (1)		1	
	情報リテラシー II ②情報通信ネットワークJ2Q (2)		1	
	情報リテラシー II ③情報モラルとセキュリティJ2Q (1)		1	
	情報リテラシー II ③情報モラルとセキュリティJ2Q (2)		1	
	情報リテラシー I ①ICTを活用した問題解決J2Q (3)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(1)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(2)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(3)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(4)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(5)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(6)		1	
時事・習熟状況に応じた課題(7)	1			
コンピュータ知識	デジタルデータの処理の概念を説明できる 入力装置の種類と特徴を説明できる 出力装置の種類と特徴を説明できる 記憶装置の種類と特徴を説明できる 利用者サービスの種類を理解した上でサービスを利用できる デジタル化の利点や問題点を説明できる コンピュータを利用したデータの管理や分析ができる	詳細	3	
ネットワーク情報通信	情報通信システムの基本的な仕組みを説明できる ログオン/ログオフの意味について説明できる ネットワーク資源の基本的な活用ができる ホームページの仕組みを理解した上で活用できる 電子メールの機能を理解した上で活用できる	詳細	2	
セキュリティ情報モラル	情報モラルの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 個人情報保護の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 情報セキュリティの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる コンピュータウイルスに対する基本的な対処ができる 知的財産権や肖像権の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる	詳細	3	
ICTを活用した問題解決	【意思決定】 収集または与えられた情報をもとに、物の選択や行為の決定を行うためのアルゴリズムを組み立て、意思決定に役立てることができる 【システム分析と設計】 相互に関連し合う要素から構成される体系、方式、組織などを演繹的・帰納的に解析・設計することができる 【不測の事態への対応】 トラブル、割り込み、予定からの逸脱、第三者の誤りの修復などに対応することができる	詳細	2	
表計算・データベース(Excel)	PART4 Lesson1		1	次年度への 導入項目
	PART4 Lesson2		1	
	PART4 Lesson3		1	
	PART5 Lesson1/Lesson2		1	
	PART5 Lesson3		1	
	PART5 Lesson3		1	
	PART5 Lesson4		1	
	PART5 まとめ1		1	
	PART5 まとめ2		1	
	PART6 Lesson1①		1	
	PART6 Lesson1②(ネスト)		1	
	PART6 Lesson2①		1	
	PART6 Lesson2②(絶対参照)		1	
	PART6 Lesson3		1	
	PART6 Lesson4		1	
	PART6 Lesson5①		1	
PART6 Lesson5②		1		

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	松原 徹 (常勤)	開講時期	1年次 通年
科目名	飛行機実習	授業 方法	講義・演習・ 実習	教育時間	60
教科書	日本航空技術協会 基本工具 日本航空技術協会 航空機の基本技術 日本航空技術協会 飛行機構造				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	実習を通じて航空機取り扱い法、整備の基本技術を身に付けさせる。			
実務経験	航空自衛隊での実務経験を活かした飛行機実習の授業。			
授業の進め方	実習を多く取り入れ、安全に作業をできるよう身に付けさせる。			
到達目標	1. 工具の名称と取り扱い法を理解する。 2. 航空機の仕組みを理解する。 3. 整備をする上で必要な基本事項を身につけさせる。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	70%	10%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	航空機の整備	6		
2	工具の名称、使用法	10		
3	航空機の操縦法	4		
4	地上取り扱い法	14		
5	締結法	16		
6	計測器	10		

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	高石一朗	開講時期	1年次通年
科目名	MBS I	授業 方法	講義・演習・ 実習	教育時間	90
教科書					
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	校用車の点検整備を通じて必要な技術を身に付ける			
実務経験				
授業の進め方	実習と座学			
到達目標	車両点検の作業手順と正しい工具の使い方や各部の名称を覚える			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	50%	30%	20%	100%
授 業 計 画 (1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	エンジンの基礎知識	24		
2	小型車点検整備実習	22		
3	フォークリフト点検整備実習	22		
4	大型車点検整備実習	22		

学科	トータルモビリティ技術科	学年	1
科目	MBS1	授業方法	実習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
エンジン	a.ピストンエンジンの基礎知識 b.ガソリンエンジン c.ディーゼルエンジン	4月～7月	24	
小型点検	a.タイヤ交換 b.エンジンオイル交換 c.始業点検	9月～10月	22	
フォークリフト	a.エンジンオイル交換 b.フィルター交換 c.グリスアップ	11月～12月	22	
大型点検	a.タイヤ交換 b.エンジンオイル交換 c.始業点検	1月～2月	22	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	堀尾 昌伸 (常勤)	開講時期	1年次 通年
科目名	資格検定	授業 方法	講義 演習・実習	教育時間	25
教科書	基礎から最新問題までよくわかる乙4類危険物取扱者受験教科書				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	危険物取扱者乙種4類の取得を目指すと共に消防法を通して危険物の取扱に関する知識を身に着ける。			
実務経験	—			
授業の進め方	教科書を参考とし、板書での講義や問題演習を展開する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 物理・化学の基礎知識を理解する。 2 危険物の性質を学びその消火方法を理解する。 3 消防法などを学び危険物取扱者として法令を遵守する。 			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	—	20%	100%

授 業 計 画				(1単位時間=50分)
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	物理と化学の基礎知識	6		
2	危険物の性質並びにその火災予防	7		
3	危険物に関する法令	12		

学科	トータルモビリティ技術科	学年	1年
科目	資格検定	授業方法	講義

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
の物理基礎と化学知識	a 基礎的物理及び基礎的化学 b 燃焼の基礎知識 c 消火に関する基礎知識	4月～6月	6	
危険物の性質並びにその火災予防	a 乙種4類危険物以外の危険物の概論 b 乙種4類危険物の概論	6月～9月	7	
危険物に関する法令	a 消防法 b 危険物の規制に関する政令 c 危険物の規制に関する規則	10月～3月	12	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ工学科	担当	副島茂利	開講時期	通年
科目名	英語 I	授業 方法	講義 ・演習・実習	教育時間	59
教科書	中学英文法パターンドリル(文英堂)				
参考書	配布プリント(随時)				

教 育 の 内 容				
授業概要	英語で「読む・書く・聞く・話す」ための土台となる「中学生で学ぶ英文法」をパターン練習で身につける。			
実務経験				
授業の進め方	AH-課題提出 対面授業ードリル形式の問題演習(随時説明)・必須の会話表現練習			
到達目標	各種資格試験の勉強やコミュニケーション力を身につけるための学習につなげられるように、その土台となる「中学生で学ぶ英文法」をしっかりマスターすること。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	%	20%	100%

授 業 計 画				(1単位時間=50分)
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	現在形・過去形・未来系	5		
2	助動詞	2		
3	疑問詞・命令文・There is (are)~	2		
4	不定詞・動名詞 基本+重要構文	5		
5	接続詞・前置詞・形容詞・副詞	4		
6	比較級・最上級	4		
7	受け身	3		
8	現在完了形	5		
9	文型	5		
10	関節疑問文・感嘆文・付加疑問文	4		
11	仮定法	5		
12	分詞・関係詞	7		
13	英検問題演習	8		

学科	トータルモビリティ工学科	学年	1年
科目	英語 I	授業方法	講義・AH

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
文法	a.現在形・過去形・未来系 b.助動詞 c.疑問詞・命令文・There is (are)～ a.不定詞・動名詞 基本+重要構文 b.接続詞・前置詞・形容詞・副詞 c.比較級・最上級	4月～7月	22	英検3級 問題演習 (随時)
文法	a.受け身 b.現在完了形 c. 文型 d.関節疑問文・感嘆文・付加疑問文 e.仮定法 e.分詞・関係詞	9月～12月	29	英検3級 問題演習 (随時)
文法	英検問題演習	1月～3月	8	英検3級 問題演習 (随時)

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/3ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	松原 徹 (常勤)	開講時期	1年次 通年
科目名	ジェットエンジン学	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	60
教科書	日本航空技術技術協会 航空工学講座(7) タービン・エンジン				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	航空機のタービン・エンジンの概要をはじめその構造・機能を理解させる。			
実務経験	航空自衛隊での実務経験を活かした飛行機実習の授業。			
授業の進め方	実物のエンジンと映像、関連部品等により、エンジンに興味を持たせる。			
到達目標	1. タービン・エンジンの種類ごとの特徴が理解できる。 2. 部品の名称、役割が説明できる。 3. エンジン関連会社に就職意識を持たせる。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	70%	10%	20%	100%

授 業 計 画				(1単位時間=50分)
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	航空エンジンの分類と特徴	2		
2	エンジンの概念	2		
3	熱力学	4		
4	タービン・エンジンの概要	4		
5	タービン・エンジンの出力	8		
6	タービン・エンジン本体の基本構成要素	16		
7	タービン用燃料及び滑油	3		
8	タービン・エンジンの各種系統	12		
9	タービン・エンジンの材料	3		
10	エンジンの試運転	2		
11	エンジンの状態監視手法	2		
12	環境対策	2		

2025授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	トータルモビリティ技術科	担当	堀尾昌伸	開講時期	1年次 通年
科目名	一般教養	授業 方法	<u>講義</u> ・演習・実習	教育時間	81
教科書	SPI&テストセンター超実践問題集				
参考書					

教 育 の 内 容				
授業概要	就職試験で問われるSPIの言語分野、非言語分野や一般教養、一般常識問題の基礎知識を身に付ける			
実務経験	—			
授業の進め方	実践問題を解きながら知識を深めていく			
到達目標	1 SPI言語分野、非言語分野の問題を解くことができる 2 就活におけるSPI受験の際出題される一般教養、一般常識問題を解くことができる			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	60%	20%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目		時 間	備 考
AH	SPI非言語分野		27	
1	SPI言語分野		27	
2	SPI非言語分野		27	

学科	トータルモビリティ技術科	学年	1年
科目	一般教養	授業方法	講義

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
S P I 非 言 語 分 野	a 推論 b 順列・組み合わせ c 確率 d 割合と比 e 損益算 f 料金割引 g 仕事算 h 代表精算 i 速度算 j 集合 k 表の解釈 l 特殊算 m 情報の読み取り	通年	27	
S P I 言 語 分 野	a 同意語・反意語・類義語 b 二語の関係 c ことわざ・慣用句・四字熟語 d 語句の意味 e 空所補充 f 文章整序 g 長文読解	通年	27	
S P I 非 言 語 分 野	a 推論 b 順列・組み合わせ c 確率 d 割合と比 e 損益算 f 料金割引 g 仕事算 h 代表精算 i 速度算 j 集合 k 表の解釈 l 特殊算 m 情報の読み取り	通年	27	